

FMC

秀品収穫は 苗美人から。

新規登録拡大！
根回し水/
根じめ処理

(定植直後 株元灌注処理)
ピーマン、なす、メロン、
すいかなど

水やりと同様方法！



動噴で
(一般的な灌水スズル水圧弱め、
約500株をおよそ1分で
処理できます！)

すばやく根から吸収される苗灌注1回で、速効食害停止&約1ヶ月残効！
悪い虫をつけさせない。

主な適用害虫



* 株元灌注の場合は作物体になるべく薬液がかからないよう処理してください。



野菜灌注用殺虫剤

ベシマーク[®] SC

powered by
CYAZYPYR[®]
ACTIVE INGREDIENT

ジアミド剤のプロ **FMC** の卓効成分
シアントラニプロール (通称: サイアジビル[®]) を、**18.7% 高配合!**



- 特長 1** 卓効でおなじみのジアミド系有効成分
シアントラニプロロール(通称:サイアジピル®)を、
ぜいたくに**18.7%配合!**
- 特長 2** まとめて**簡単&手間いらず**の灌注処理で、
撒いたそばから**食害を停止させる速効性!**
- 特長 3** 幅広い**難防除・抵抗性・重要害虫**に有効!
約3~4週間の長い残効性!
- 特長 4** 発売以来、**薬害事例ゼロ!** マルハナバチ、天敵にも**高い安全性!**



熊本県玉名市 梅野治行さん

※コメントは取材当時の個人の感想です。
本内容は2016年3月取材時のものです。

これまででは、粒剤をまいていましたが、
水に溶けて効果を発揮するまでの
時間に、コナジラミにやられないか
心配でした。ベリマーク®SCの灌注
処理なら、水に溶かした成分がすぐ
に吸われるから、安心感が違います。



NEW

定植直後の灌水(根回し水/根じめ)と、一緒に処理できて省力的!

トマト・きゅうり・なす・
ピーマン・すいか・メロン苗の

**根回し水/根じめ処理 (定植直後
株元灌注処理)**

従来行っていた
「植穴への殺虫剤処理」をスキップ。
忙しい定植時期に、他の作業を
こなす余裕が生まれます。

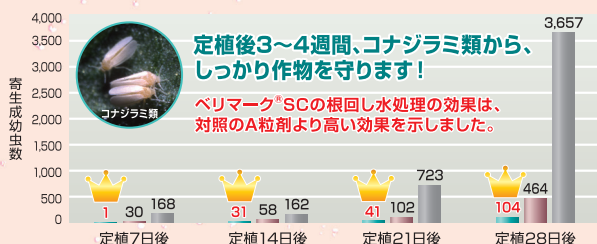
薬液を十分に
吸収させましょう!

株元へ弱めの水圧で
ゆっくりとていねいに



薬量:400株当たり25ml 希釈水量:400株当たり20~200ℓ(1株当たり50~500ml)

■定植直後処理(根回し水処理、根じめ処理)による高い効果 トマト/タバコナジラミ バイオタイプQ



2021年 熊本県農業研究センター 生産環境研究所
【試験概要】◎品種:りんか409◎区制:1区 10株
3連制◎対象病害虫発生状況:中→多発生(放虫)
◎播種:4月9日◎定植:5月24日◎処理日:5月24日
(A粒剤は5月21日)◎処理方法:ベリマーク®SC
は400株当たり原液25ml処理するため、各株の
株元に8000倍に希釈した薬液500mlを根回し
水灌注処理した。定植3日前に、A粒剤は所定量を
育苗ポットに処理した。◎処理時の作物のステージ:
草丈40~50cm、本葉約8枚◎調査日:定植7日
後(5月31日)、定植14日後(6月7日)、定植21日
後(6月14日)、定植28日後(6月21日)◎調査方法:
各区6株について、上、中、下位から1株葉(3複葉/
株、合計18複葉)を選び、寄生する成虫および幼
虫(中齢、老齢)を肉眼により計数した。

■適用害虫と使用方法

2023年12月現在

作物名	適用害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロロールを含む 農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
きゅうり	アブラムシ類	400株 当たり 25ml	400株当たり2~20ℓ(1株当たり5~50ml)	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理及び 定植直後の株元灌注は 合計1回以内、 定植後の散布は3回以内)
	アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類		400株当たり10~20ℓ(1株当たり25~50ml)	定植直後		株元灌注	
	アブラムシ類		400株当たり20~200ℓ(1株当たり50~500ml)	定植直後		灌注	
トマト ミニトマト	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類 ハモグリバエ類、トマトキバガ		400株当たり10~20ℓ(1株当たり25~50ml)	育苗期後半~定植当日		灌注	4回以内 (定植時までの処理及び定植直後の 株元灌注は合計1回以内、 定植後の散布は3回以内)
	コナジラミ類		400株当たり20~200ℓ(1株当たり50~500ml)	定植直後		株元灌注	
	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類		400株当たり10~20ℓ(1株当たり25~50ml)	育苗期後半 ~定植当日		灌注	
ピーマン	コガネムシ類		400株当たり10ℓ(1株当たり25ml)	定植直後		株元灌注	1回
	アブラムシ類		400株当たり200ℓ(1株当たり500ml)	定植直後		灌注	
	アブラムシ類		400株当たり200ℓ(1株当たり500ml)	定植直後		株元灌注	
なす	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類 ハモグリバエ類、ネキリムシ類		400株当たり10~20ℓ(1株当たり25~50ml)	育苗期後半 ~定植当日		灌注	4回以内 (定植時までの処理及び定植直後の 株元灌注は合計1回以内、 定植後の散布は3回以内)
	アブラムシ類		400株当たり200ℓ(1株当たり500ml)	定植直後		株元灌注	
	アブラムシ類		400株当たり200ℓ(1株当たり500ml)	定植直後		株元灌注	
メロン すいか	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類		400株当たり10~20ℓ(1株当たり25~50ml)	育苗期後半~定植当日		灌注	4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)
	アブラムシ類		400株当たり200ℓ(1株当たり500ml)	定植直後		株元灌注	
	アブラムシ類		400株当たり200ℓ(1株当たり500ml)	定植直後		株元灌注	
ししとう	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類		400株当たり10ℓ(1株当たり25ml)	育苗期後半~定植当日		灌注	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロロールを含む 農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ アブラムシ類、アザミウマ類、ネキリムシ類、ウババエ類、シロイチモジヨトウ	400倍	セル成型育苗 トレイ1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ) 当り0.5ℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の処理は3回以内)
ブロッコリー	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ アブラムシ類、アザミウマ類、シロイチモジヨトウ			育苗期後半 ~定植当日		灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は3回以内)
はくさい	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ カブラハバチ類、アブラムシ類、シロイチモジヨトウ			定植当日		灌注	1回
レタス 非結球レタス	オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ヒメフタテンヨコバイ ハモグリバエ類、アブラムシ類、ウババエ類、シロイチモジヨトウ コオロギ類			育苗期後半 ~定植当日		灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は3回以内、 但し、株元灌注は1回以内))
カリフラワー	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ			育苗期後半 ~定植当日		灌注	1回
しそ	アブラムシ類	2000倍	0.1ℓ/㎡	収穫7日前 まで	1回	株元灌注	1回
ねぎ	タマネギバエ、タネバエ、シロイチモジヨトウ アザミウマ類、ハモグリバエ類、ネキリムシ類					灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は3回以内、 但し、株元灌注は1回以内))
	シロイチモジヨトウ、アザミウマ類、ハモグリバエ類、ネキリムシ類					灌注	1回
ほうれんそう	ハスモンヨトウ	2000倍	0.1ℓ/㎡	育苗期後半 ~定植当日	1回	株元灌注	1回
非結球 あぶらな科 葉菜類	シロオビノメイガ、アブラムシ類	4000倍	0.2ℓ/㎡			株元灌注	1回
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	4000倍	0.2ℓ/㎡			株元灌注	1回
いちご	ハスモンヨトウ	1000倍	25~50ml/株	育苗期後半	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	ハスモンヨトウ、アザミウマ類、コナジラミ類、コガネムシ類		50ml/株	育苗期後半		灌注	
	アブラムシ類		25~50ml/株	定植当日		灌注	

●ラベルをよく読んでください。●記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。
●空容器は囲場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。●防除日誌を記帳しましょう。

©2024 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。



わかりやすい製品説明
動画はこちら



製品情報は
こちらから